

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

全宅連傘下会員および消費者からの信頼のもと、住宅ローン融資に努め、豊かな社会の実現に貢献

管理債権残高
478,090百万円

② 中長期の経営戦略

1. 商品・サービス充実

顧客ニーズに合わせて住宅ローン商品の質を高め、フラット35・フラット50などの固定金利商品を提供

3. 営業基盤強化

全国エリア毎に執行責任者を配備し、業務知識向上と信頼される営業担当者育成で効果的営業を展開

2. 経営基盤確立

コンプライアンス、セキュリティ、リスク管理を徹底し、日本唯一の不動産総合金融機関を目指す

4. 収益基盤強化

融資実行前財源確保、F35管理債権の増加、クロスセル推進で複合的な収益増強を目指す

③ 対処すべき課題

① 営業基盤強化

- ・全国エリア毎の執行責任者配備と営業担当者育成
- ・全宅連傘下会員との連携強化

② 収益基盤強化

- ・融資実行前財源の増強と管理徹底
- ・フラット35管理債権の増加とサービシングフィー拡大
- ・クロスセル取引推進

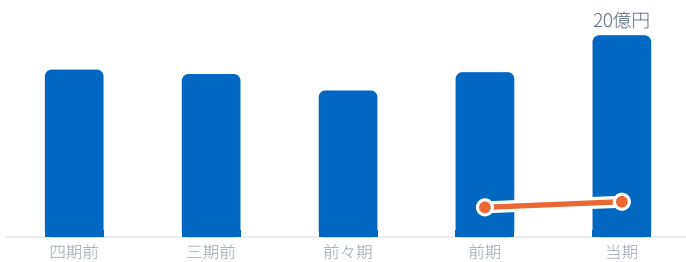
③ 管理体制強化

- ・コンプライアンス最重要課題化と事務体制強化
- ・セキュリティ体制強化
- ・内部監査体制整備

面接で使えるポイント

- ・フラット35・フラット50などの全期間固定金利商品を通じた顧客の安全・安心支援
- ・令和7年1月開始の全宅リ・バース60など新商品展開による顧客ニーズ対応
- ・管理債権残高478,090百万円の積み上げによる将来のサービシングフィー増加戦略

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
20億円営業利益率
17.5%財務健康度
37点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 36.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
-（未開示）平均年齢
-（未開示）平均勤続
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

